

# 優良農家の紹介

## 地域の転作はおまかせ

飾磨郡夢前町の衣笠愛之氏（39歳）は米・麦・そばなどを栽培する大規模農家である。高齢者の多い中山間地域の中核的担い手農家で、地域リーダーとして活躍している。農地や農作業の引き受け手として、地元集落や近隣集落からの多大な信頼を得ている。さらに、農業経営の健全化と社会的信用を高めるため、1999年12月に農業生産法人（有）夢前夢工房を設立し、将来には堆肥や農業資材等の販売も計画している。現在の主な経営概要は次のとおり。

- ・規模 水田26ha（内借入れ地25.6ha）
- ・栽培作物の面積と収量（2000年産、10a当たり）
  - 水稲：11ha・約510kg、小麦：15ha・約340kg、大豆（黒大豆も含む）：7ha・干ばつのため不明、そば：8ha・約100kg
- ・農作業受託 延べ38ha

### 1 本格的な麦作経営に取り組んで

主要品種は「シロガネコムギ」であるが、有利販売をめざし「中国146号」の試作も始めている。

麦栽培用機械は、溝切り機、マニュアルプレッダー、トラクタ複合作業機、乗用管理機、汎用コンバイン等である。

#### (1) 排水対策

2000年産麦栽培では、プラウ耕による深耕を行ってから播種し、排水溝を設置したが、播種期の降雨により発芽不良のは場が見られた。この教訓から、本年作では水稲収穫後に溝切り機による排水溝を設置し、堆肥散布、そして播種を行った。

#### (2) 有機物施用による地力増進

親が経営する養鶏場から産出される鶏ふんともみがらを混ぜ、堆肥舎で切り返した発酵もみがら鶏ふん堆肥2t/10aを土壌還元している。

#### (3) 複合作業機による一行程体系の実践

トラクタに取り付けた複合作業機により、耕起・畝立て（高畝栽培）・播種・施肥・覆土・鎮圧作業を一行程で行い、省力化を図っている。播種量8.5kg/10aの密播栽培である。

#### (4) 乗用管理機による省力化

除草剤散布や追肥施用を乗用管理機で行い、省力化に努めている。

#### (5) 水分測定による適期収穫

週間天気予報などの気象情報やは場の湿り具合を把握したうえで刈取り作業を行ったが、去年は荷受け子実水分が高かった。今後は水分計を購入し、ほ場での子実水分25%以下で刈取る計画である。

#### (6) 収穫・乾燥・調製作業

汎用コンバインにより効率的に収穫している。

乾燥・調製は地域内の農協ライスセンターを活用し、機械化一貫体系がほぼ確立できている。

### 2 今後の麦作への取組

現在、麦主産地形成特別事業で堆肥全量基肥施用栽培基準ほを設置している。今後、機械化一貫作業体系と合わせた無化学肥料栽培技術の確立に努め、省力化を推進する計画である。

また、現在2品種を栽培しているが、より収益性の高い麦作経営を目指している。

前家 正起（姫路普及センター）



麦は種前の堆肥散布

## ひょうごの農業技術 No.114

平成13年3月1日（隔月刊）

1部250円（申込先・県立中央農業技術センター）

兵庫県立中央農業技術センター（0790）47-1117

兵庫県立北部農業技術センター（0796）74-1230

兵庫県立淡路農業技術センター（0799）42-4880